

「宇原川災害」

- 昭和56年8月23日未明の「台風15号」襲来により、須坂市仁礼地区で発生した土石流災害。
- 仁礼地区では、一瞬にして、10名の尊い人命が奪われるとともに、貴重な財産が失われ、道路橋梁等公共施設も多大な被害を受けた。



至 菅平

空から見た被災地区

(国) 406号

宇原橋

至 須坂市街

宇原川

8月23日朝
山が襲ってきた

主要被災箇所図

(国)406号

須坂駅

至
長野

宇原川

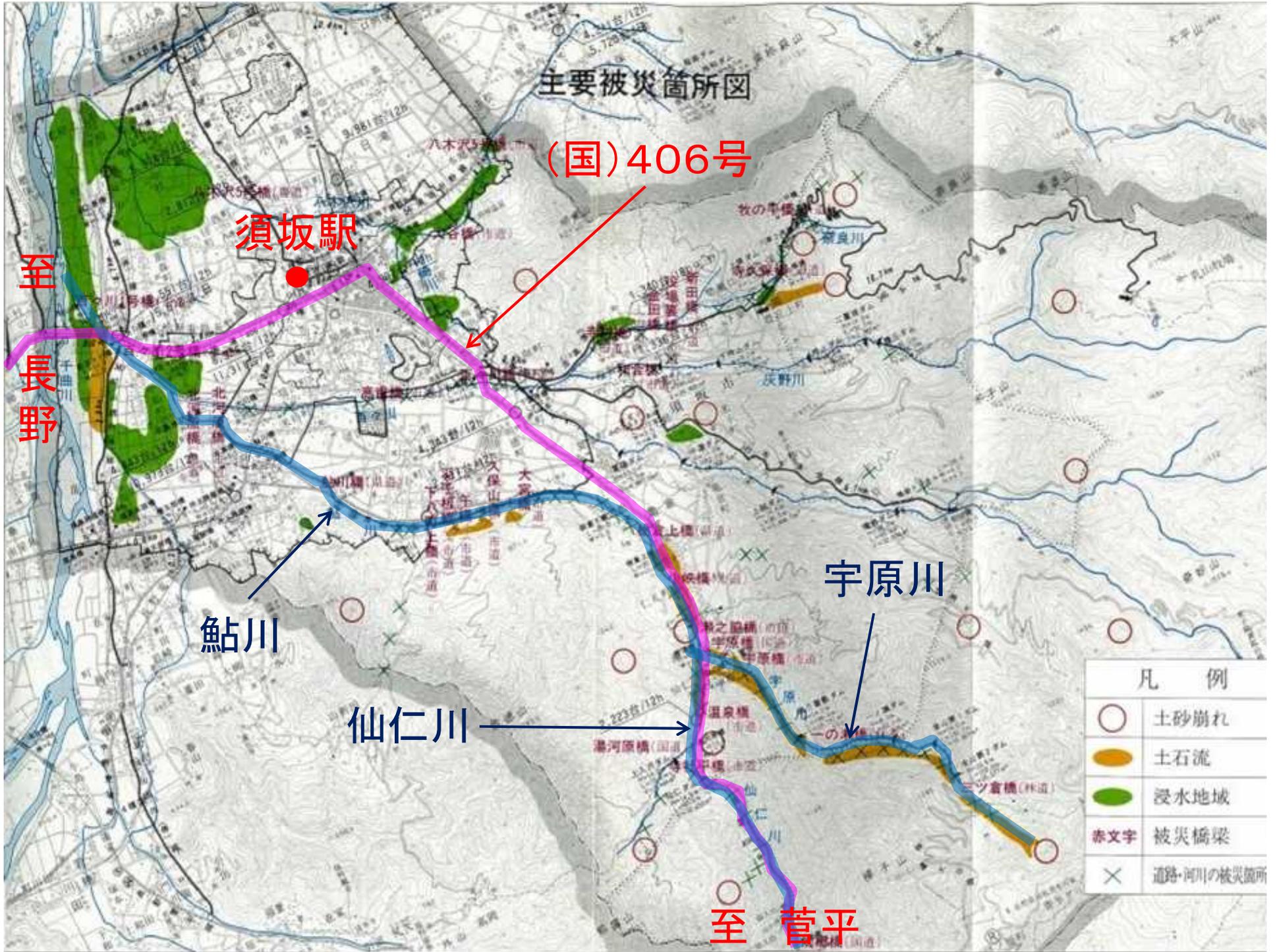
鮎川

仙仁川

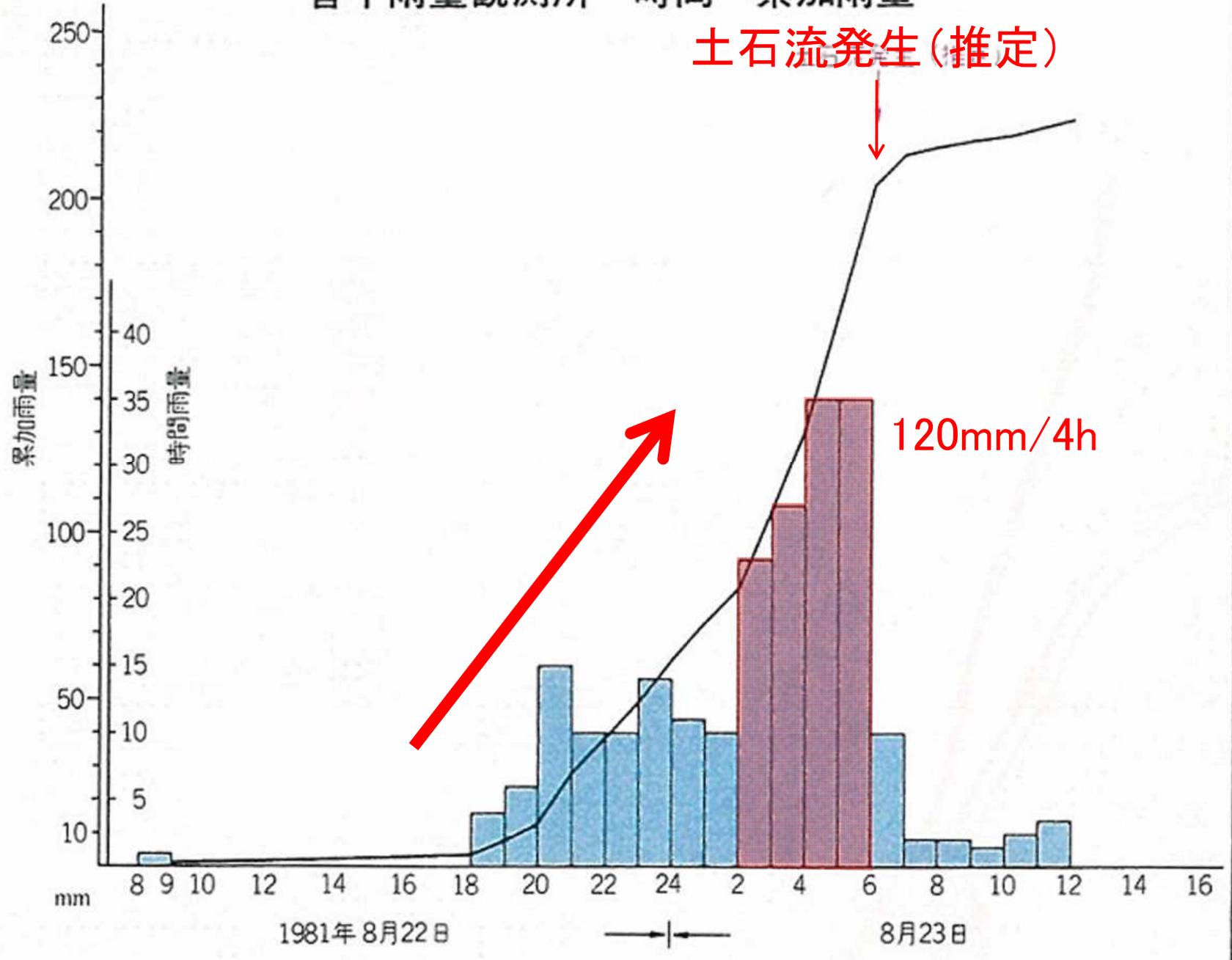
至
菅平

凡 例

○	土砂崩れ
●	土石流
■	浸水地域
赤文字	被災橋梁
×	道路・河川の被災箇所



菅平雨量観測所・時間・累加雨量



菅平雨量観測所

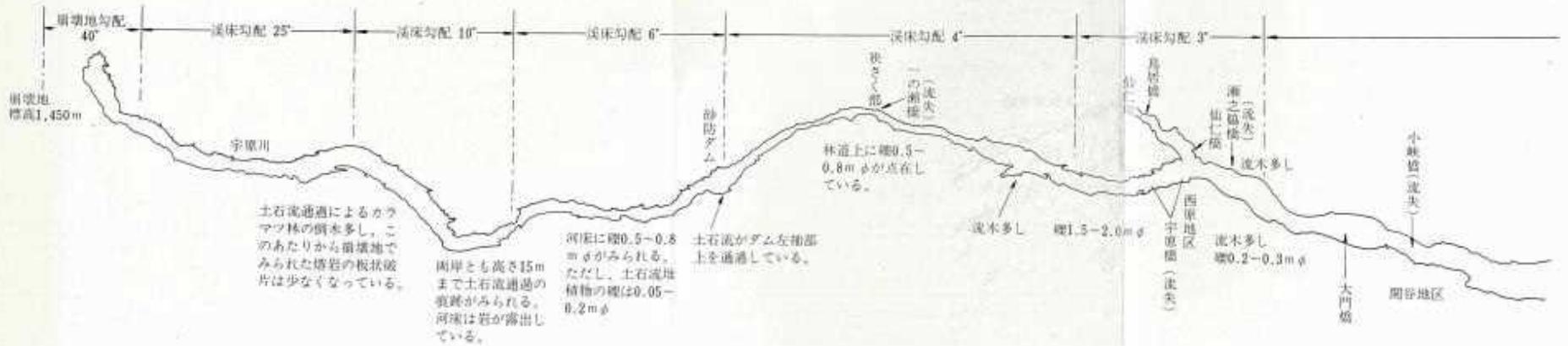
源頭部

図(9) 土石流のつめあと



撮影：大洋航空機

(国)406号(当時)



須坂市の被害状況

須坂市役所調べ

被害状況 (須坂市全体)

- 死者:10名
- 負傷者:20名
- 家屋の全半壊:20戸
- 床上、床下浸水:421戸
- 田畑の流出冠水:43ha
- 橋梁流出等:13橋
- 全体被害額:9,119百万円
(住家の被害額を含む)

被害別		須坂市 (56.9.7現在)	
死者・行方不明		死者 10名	
重・軽傷者		重傷者 2名 軽傷者 18名	
全壊流失(棟)		10	
半壊(棟)		10	
一部破損(棟)		3	
床上浸水(棟)		92	
床下浸水(棟)		333	
非住家の全半壊(棟)		37	全壊32 半壊5
被災世帯数		1,746	
農業関係被害	農作物等(千円)	157,160	(526.6ha)
	同施設等(千円)	34,835	(62ヶ所)
	農地(千円)	1,100,000	(494ha)
	農業用施設(千円)	421,000	(82ヶ所)
	その他(千円)	3,862	
	計(千円)	1,716,857	
林業関係被害	治山(千円)	584,500	(5ヶ所 109)
	施設(千円)	0	
	林道(千円)	413,179	(140ヶ所 7,300m)
	その他(千円)	91,151	
	国直轄分(千円)		
	計(千円)	1,088,830	
公共土木施設被害	河川(千円)	3,767,400	(97ヶ所)
	砂防(千円)	107,000	(4ヶ所)
	道路(千円)	1,130,913	(115ヶ所)
	橋りょう(千円)	604,200	(31ヶ所)
	国直轄分(千円)		
	計(千円)	5,609,513	
公共機関被害	鉄道(千円)		
	通信(千円)	107,500	
	電力(同線)	120,000	
	計(千円)	227,500	
その他被害	都市施設等(千円)	14,000	(2ヶ所)
	商工関係等(千円)	102,644	(26件)
	水道施設等(千円)	124,970	
	観光施設等(千円)	11,520	(8件)
	文教施設等(千円)	21,900	(6件)
	福祉施設等(千円)	320	(2件)
	その他(千円)	10,799	
	計(千円)	286,153	
合計(千円)	9,118,963	(住家の被害額 190,110を含む)	

瀬の脇地区



宇原地区



(国)406号 宇原橋付近



曲屋敷砂防ダム(宇原川)



着手前 上流から下流を望む



竣工写真

一ノ瀬第2砂防ダム(宇原川)



金山第1砂防ダム(宇原川)



着手前下流より望む



金山第2ダム(宇原川)



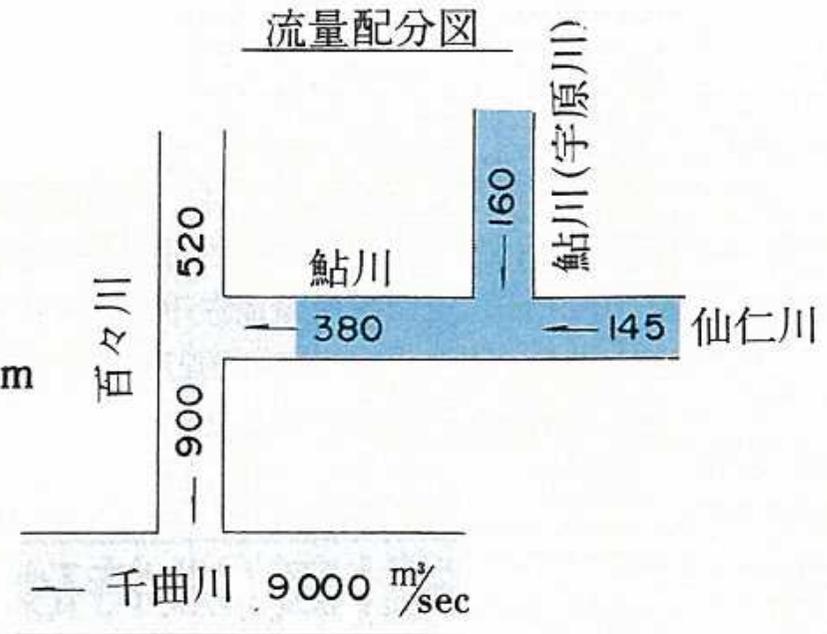
仙仁砂防ダム(仙仁川)



鮎川河川災害助成事業

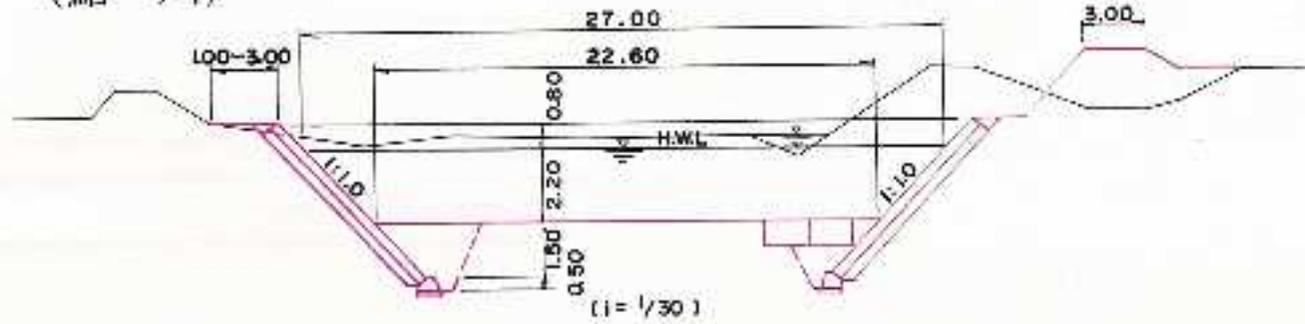
計画諸元

流域面積	47.6km ²
計画雨量	35mm/h
超過確率	1/30
河川改修延長	7,700m
計画河巾	28.6~21.0m 仙仁川12.2m
計画河床勾配	1/25 ~ 1/30
計画堤防断面	天端巾 1.0~3.0 余裕高 0.6~0.8

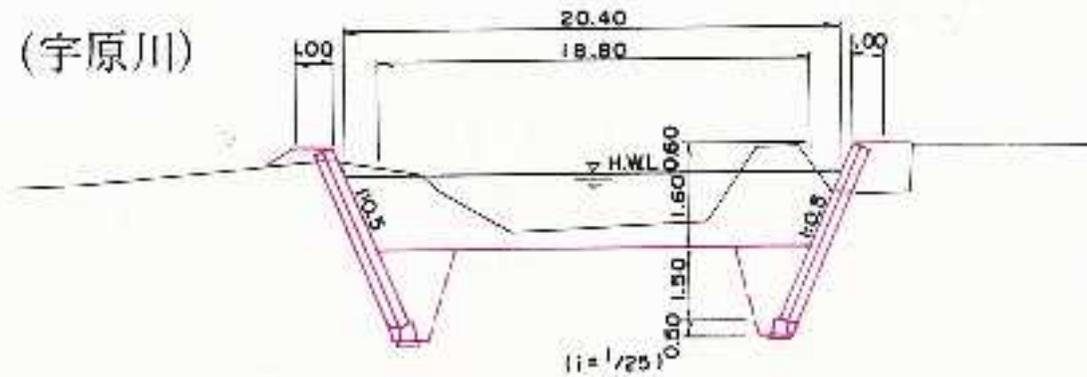


標準横断面図

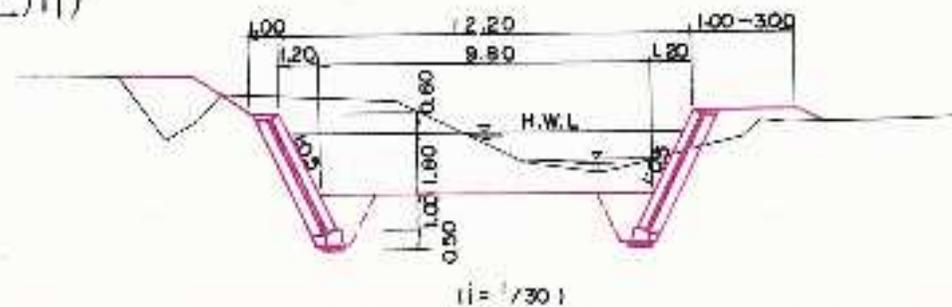
(鮎川)



(宇原川)



(仙仁川)



鮎川河川災害助成事業

鮎川河川災害助成工事

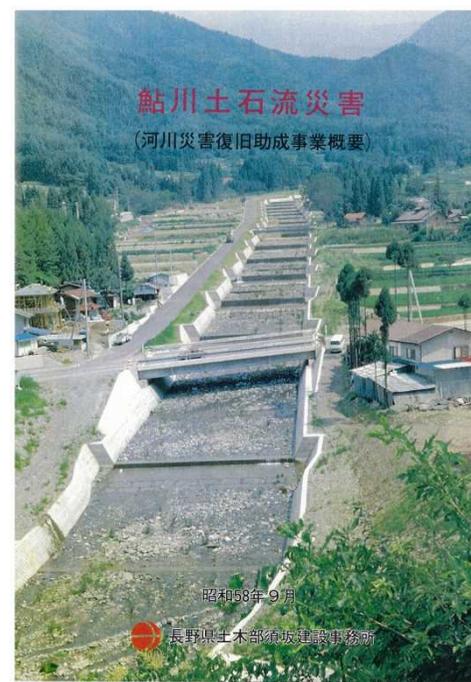
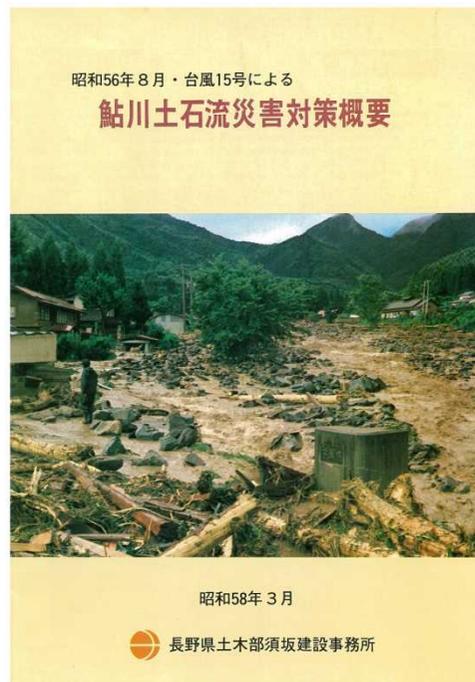
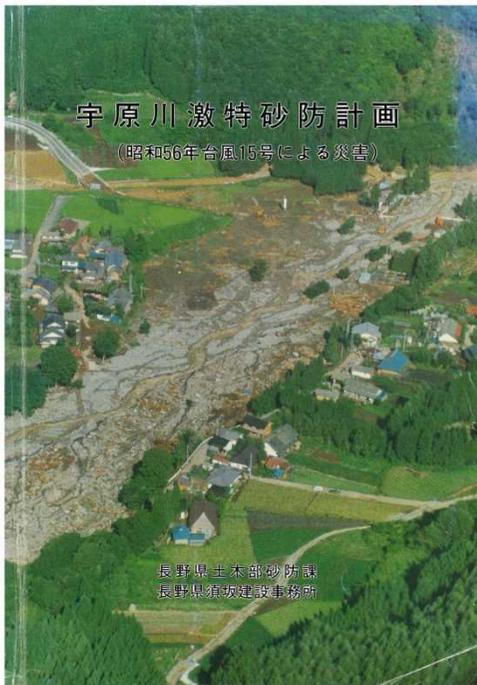
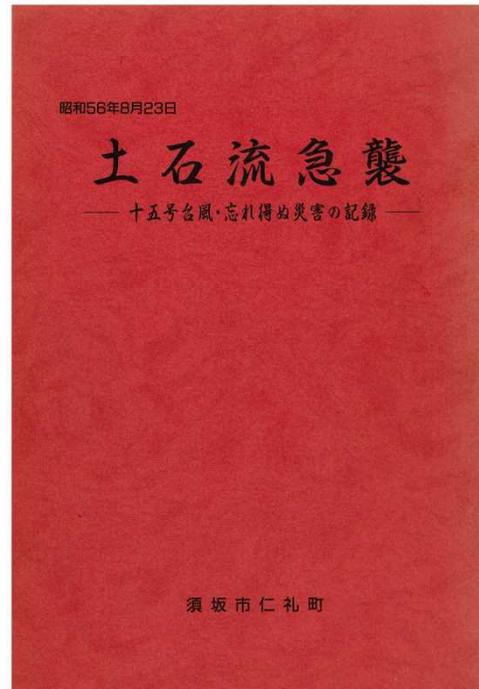
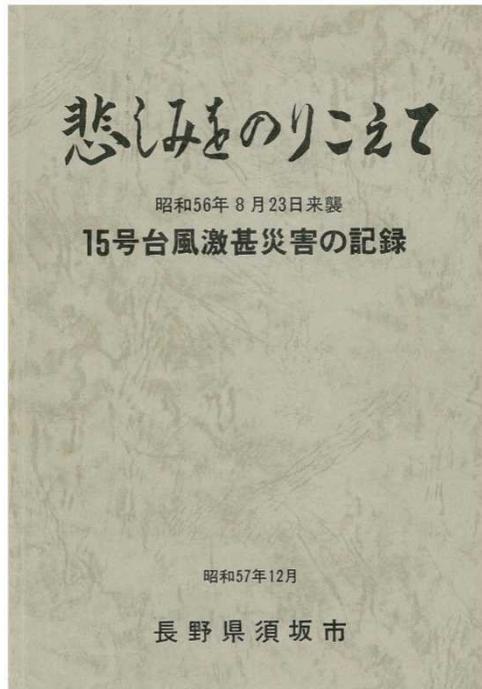


西原付近：着手前

鮎川河川災害助成工事



完 成



宇原川災害と復旧の記録